

令和2年度 小平市立 小平第二中学校 学校評価計画表

学校教育目標	◎自ら考え、正しく判断し積極的に実践する人間 ◎社会の一員として協力し、向上につとめる人間	◎明るく健康で情操豊かな人間 ◎相手の人格や立場を尊重する人間
---------------	--	------------------------------------

目指す学校像(ビジョン)	「自分に自信をつける。」 生徒・教職員・保護者・地域住民が誇れる「二中プライド」の確立する。
【目指す学校像】 【目指す児童・生徒像】 【目指す教師像】	

前年度までの学校経営上の成果と課題

・小グループ活動を取り入れた授業改善の研究を5年間実施し、意欲的に取り組む教員が増え、その結果生徒の学力も向上しつつある。教科を越えて教員の相互授業参観を積極的に行い、生徒の活動を取り入れた授業をさらに深めていくことが課題である。

・挨拶がとてよくなり、それに伴って、生活態度や授業規律も向上している。さらに、生徒が自主的に学校の環境改善を行っていくよう、主体的な生徒の活動を進めていくことが課題である。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)	成果目標(評価基準)		
学力向上	日々の授業で主体的・対話的で深い学びをとおし、21世紀を生き抜く確かな学力を生徒に身に付けさせる。	日々の授業をとおして、生徒の学習意欲の向上させる 二中スタンダードに基づき、生徒が家庭における時間に使い方を工夫し、家庭学習の習慣を身に付けさせる。	①全校での男女市松模様の統一した座席配置	4	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち6～8個実施	4	令和2年度児童・生徒の学力向上を図るための調査」の生徒質紙調査結果で授業のついての5つの質問で東京都の平均より15%以上上回る。
			②全教科で4人組の学びあい活動の実施	3	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち4～6個実施	3	令和2年度児童・生徒の学力向上を図るための調査」の生徒質紙調査結果で授業のついての5つの質問で東京都の平均より10%以上上回る。
			③教室環境を全校で統一した学習環境	2	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち2～4個実施	2	令和2年度児童・生徒の学力向上を図るための調査」の生徒質紙調査結果で授業のついての5つの質問で東京都の平均より5%以上上回る。
			④全教員の年間1回の研究授業の実施	1	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち0～2個実施	1	令和2年度児童・生徒の学力向上を図るための調査」の生徒質紙調査結果で授業のついての5つの質問で東京都の平均より下回る。
キャリア教育	自分を信じ、将来の夢をもち、夢の実現のために。毎日の学校生活や毎時間の授業に真剣に取り組む生徒の育成「二中プライド」の確立を目指す。	キャリアパスポートを通して、生徒が自らの学習状況やキャリア形成を見直し、振り返ることで将来の進路を考え、中学生としての自信やプライドを育てる。 職場体験や毎日の授業、卒業生の話を聴く機会をとおして、将来についての自分の夢を考えさせる企画を多く設けることで、日々、自分の生き方を考えさせる。	⑤年間9回の学年協議会の充実	4	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち6～8個実施	4	令和2年度学校評価保護者アンケート結果のより「ご意見、要望等があればお書きください。」で肯定的な意見が記述の8割以上
			⑥年間3回の講師を招聘した校内研修会の実施	3	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち4～6個実施	3	令和2年度学校評価保護者アンケート結果のより「ご意見、要望等があればお書きください。」で肯定的な意見が記述の7割以上
			⑦二中スタンダードを作成し家庭学習の定着	2	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち2～4個実施	2	令和2年度学校評価保護者アンケート結果のより「ご意見、要望等があればお書きください。」で肯定的な意見が記述の6割以上
			⑧放課後学習教室の履修を推進する	1	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち0～2個実施	1	令和2年度学校評価保護者アンケート結果のより「ご意見、要望等があればお書きください。」で肯定的な意見が記述の5割以上
健全育成(いじめ防止)	校内にいるすべての人に自分から、明るく元気なあいさつができる力を身に付けさせるとともに、いじめのない、明るく活気のある学校となる。	毎週実施する校内支援委員会を充実させ、特別な支援が必要な生徒については、全職員で共通理解を図り、迅速に的確に対応する。 六小、十三小、十五小との小・中連携教育の推進や地域連携を図ることで、9年間を見通した生活指導を行い、生徒の問題行動には迅速に的確に対応する。	①週3日朝8:00～8:15のあいさつ運動の実施	4	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち6～8個実施	4	令和2年度学校評価保護者アンケート結果より「お子さんは、学校生活を楽しんでいると思えますか。」で「そう思う」と「やや思う」の回答がで8割以上
			②全教員が顧問となった部活動の実施	3	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち4～6個実施	3	令和2年度学校評価保護者アンケート結果より「お子さんは、学校生活を楽しんでいると思えますか。」で「そう思う」と「やや思う」の回答がで7割以上
			③生徒会・委員会活動の充実	2	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち2～4個実施	2	令和2年度学校評価保護者アンケート結果より「お子さんは、学校生活を楽しんでいると思えますか。」で「そう思う」と「やや思う」の回答がで6割以上
			④生徒の誕生日を祝う	1	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち0～2個実施	1	令和2年度学校評価保護者アンケート結果より「お子さんは、学校生活を楽しんでいると思えますか。」で「そう思う」と「やや思う」の回答がで5割以上
業務改善・働き方改革	全職員が、本校の勤務にやりがいや生きがいを感じ、意欲的に働く学校にする。	・事務や学校行事の引き継ぎなど、前年者との引き継ぎを明確に実施し、必要な資料等の保管や効率的な仕事を心がける。 ・毎日の学校生活、1時間の授業を大切に思い、職員が自分の健康管理や体調をしっかりと整える。	①全校での授業規律の確立	4	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち6～8個実施	4	病気休暇を取得する職員が年間0名であり、全職員の年休取得率が昨年度より向上した。
			②朝礼など効率的な集団行動を指導	3	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち4～6個実施	3	病気休暇を取得する職員が年間0名であり、全職員の年休取得率が昨年度と同様であった。
			③小中連携の日の取組を充実	2	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち2～4個実施	2	病気休暇を取得する職員が年間0名であり、全職員の年休取得率が昨年度より下回った。
			④家庭・地域連携のためのHP等の充実	1	左記の「具体的方策」の①～⑧のうち0～2個実施	1	病気休暇を取得する職員が年間1以上おり、全職員の年休取得率が昨年度より下回った。